

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	人権啓発事業				開始年度	—	
基本目標	人権啓発の推進				終了年度	—	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	橋本 由香	評価者	森 弘道
21年度決算	146	千円	22年度予算	150	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,093 千円		22年度人件費	1,085 千円		事業従事者数	0.15 人 0.15 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町民の人権同和問題への関心を高め、人権尊重意識の普及高揚を図る。
事業の内容	人権擁護委員の日(街頭啓発)、人権啓発強調月間(夏休みふれあい映画祭、チラシ配布、懸垂幕掲揚)、人権週間(街頭啓発、小学生人権啓発ポスター展、懸垂幕掲揚)、いきいきふれあいリレー展(パネル展)、高鍋城灯籠まつり物産展(人権啓発コーナー)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 街頭啓発物品配布数	啓発物品を配ることで、人権について考える機会が増加する。
	2 映画祭来場者数	特に児童を中心に、わかりやすく人権について考える機会となる。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 啓発活動	街頭啓発活動を2回行い啓発物品を配布。町広報紙、チラシに啓発記事を掲載した。
	2 映画祭	チラシを小学校に配布し広報した。当日は啓発資料、物品を配り、アンケートを実施した。
	3 灯籠まつり出店	人権啓発コーナーを設置し、パネル展を実施する。約350人に啓発物品を配布した。

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	街頭啓発物品配布数	目標値	300	300	300
		実績値	300	300	
		達成率	100.0%	100.0%	
	映画祭来場者数	目標値	150	150	150
		実績値	105	106	
		達成率	70.0%	70.7%	
			#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	啓発活動	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	映画祭	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	灯籠まつり出店	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	人権は誰からも侵されることのない基本的な権利である。関係課・機関と連携を取りながら、広く町民の人権意識の高揚を図るため、また、住民福祉の観点から町が実施すべき事業である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	人権問題については行政の取り組みと共に、町民一人ひとりが地域・家庭・職場などで自分自身の問題として考えていくことが不可欠である。人権問題は難しい、関係ないと感じる人が多いと思われるが、啓発活動で人権について考える機会をつくり、一人ひとりの人権意識を高めることは有効な手段である。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	街頭啓発に関する物品については法務局から支給され、映画祭についても、人権啓発推進協議会が準備を行うため、コストは低い。経費削減は難しい。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	法務省委嘱の人権擁護委員と協力して啓発に取り組んでいる。

事務事業名	人権啓発事業	担当課(局)	政策推進課
-------	--------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	高齢者や児童虐待などが連日報道される荒んだ社会状況の中、少しでも相手を思いやれる人にやさしいまちづくりを進めていくためには、人権について考える機会の提供など、地道に啓発活動を行う必要があると考える。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	※評価対象として馴染まない、という意見が複数あったため、次回以降に要検討。
	コスト	現状維持	